



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

東

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所
 コード番号 3993 URL https://pkshatech.com/ja
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)中田 光哉 (TEL)03-6801-6718
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,515	227.6	443	△20.0	426	△19.1	1,645	357.7
2019年9月期第3四半期	1,683	55.9	554	23.4	527	19.1	359	△28.5

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 1,605百万円 (353.1%) 2019年9月期第3四半期 354百万円 (△29.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年9月期第3四半期	54	18	51	70
2019年9月期第3四半期	13	46	12	98

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	32,758		27,322		83.4	
2019年9月期	30,421		26,652		87.6	

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 27,320百万円 2019年9月期 26,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年9月期	—		0.00		0.00	0.00
2020年9月期	—		0.00			
2020年9月期(予想)				0.00	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,500	145.0	750	4.0	710	19.8	1,850	200.8	60	92

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期3Q	30,599,000株	2019年9月期	30,430,200株
2020年9月期3Q	360,049株	2019年9月期	—株
2020年9月期3Q	30,368,226株	2019年9月期3Q	26,716,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
(企業結合等関係)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、音声解析、機械学習/ 深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

Mobility & MaaS事業は、Smart City化に向けてリアル空間のオペレーションを智能化させていく取り組みを行っております。画像認識に関わるアルゴリズムを活用した新たなサービス・商品等の開発ニーズを受けて、アルゴリズムソリューションおよびアルゴリズムソフトウェアを販売しております。また、IoT機器からリアル空間のデータを収集しクラウドに繋げた上で顧客への製品・サービス提供を行う取り組みの一環として駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を行っております。

Cloud Intelligence事業は、デジタル空間上で行われる処理を智能化させていく取り組みを行っております。アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化・効率化や、オペレーションのソフトウェア化といったニーズに対応するアルゴリズムソリューションおよびアルゴリズムソフトウェアを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社は引き続き特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合を目指す成長戦略のもと、優秀な人材の採用やアルゴリズムのラインアップ拡張、研究開発の加速などの先行投資に注力してきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,515,781千円(前年同四半期比227.6%増)となりました。これはMobility & MaaS事業において、前期中に買収した株式会社アイテック(アイドラグループ3社は、2020年1月1日付けで株式会社アイドラ及び昭立工業株式会社を消滅会社、株式会社アイテックを存続会社とする吸収合併を行っております)が通年で業績に寄与したこと、またCloud Intelligence事業で各種ライセンスの販売が拡大したことによるものです。

営業利益は443,233千円(前年同四半期比20.0%減)、経常利益は426,878千円(前年同四半期比19.1%減)となりました。営業利益および経常利益が前年同期を下回ったのは、当第3四半期において、成長戦略に基づいた先行投資を実施したことによって、社員数の増加により給与等が増加したこと、及びオフィスを増床したことにより地代家賃等が増加したこと等によるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は1,645,291千円(前年同四半期比357.7%増)となりました。これは、保有する投資有価証券の減損処理による有価証券評価損を特別損失として432,170千円を計上した一方で、投資有価証券売却に伴う特別利益として2,622,221千円を計上したことによるものです。なお、減損処理を行った有価証券は、旅行関連企業へと出資し取得した投資先企業の株式です。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、前連結会計年度末より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(Mobility & MaaS事業)

Mobility & MaaS事業につきましては、株式会社アイテックにおいて駐車場機器の販売が堅調に推移しました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済の停滞が、機器販売及び自社駐車場運営事業に対して一部下押しの要因となっています。

この結果、売上高は3,908,609千円(前年同四半期比1,212.9%増)、セグメント利益は207,662千円(前年同四半期比75.1%増)となりました。

(Cloud Intelligence事業)

Cloud Intelligence事業につきましては、アルゴリズムの活用によるオペレーションのソフトウェア化を進めるニーズが堅調に拡大しております。このような環境の中、アルゴリズムライセンスの積み上げを図るとともに、自動応答エンジン「BEDORE」を中心としたアルゴリズムソフトウェアの拡販を進めました。また、成長戦略に基づいた先行投資を実施したことによって、社員数の増加により給与等が増加したこと、及びオフィスを増床したことにより地代家賃等が増加しました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済の停滞により、一部顧客からの受注時期が想定より遅延するなどの影響が出ています。

この結果、売上高は1,627,871千円(前年同四半期比17.4%増)、セグメント利益は323,843千円(前年同四半期比35.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は32,758,160千円となり、前連結会計年度末に比べ2,336,478千円増加いたしました。流動資産は26,928,503千円(前連結会計年度末比2,539,031千円増)となりました。主な増加要因は、現金及び預金が2,373,483千円増加したことによるものであります。また、固定資産は5,772,524千円(前連結会計年度末比176,616千円減)となりました。主な減少要因は、投資有価証券が343,901千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,435,298千円となり、前連結会計年度末に比べ1,666,527千円増加いたしました。主な増加要因は、短期借入金及び未払法人税等が639,485千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は27,322,862千円となり、前連結会計年度末に比べ669,951千円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,645,291千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2019年11月13日に公表した2020年9月期連結業績予想を下記の通り修正します。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	750	710	450	14.75
今回修正予想(B)	7,500	750	710	1,850	60.92
増減額(B-A)	0	0	0	1,400	46.17
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	311.1	313.0
(参考)前期連結実績 (2019年9月期)	3,061	720	592	409	15.00

修正の理由

- ・売上高、営業利益、経常利益は当初見通しに対して現時点で変更はありません。(注)
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、当期(2020年9月期第3四半期)決算において、投資有価証券売却に伴う特別利益として2,622,221千円計上した一方で、保有する投資有価証券の減損処理による有価証券評価損を特別損失として432,170千円計上した増減などを勘案し、新たな予想を1,850,000千円としています。なお、減損処理を行った有価証券は、旅行関連企業に出資し取得した投資先企業の株式です。
- ・1株当たり連結当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の予想の変更に準じて増加しています。

(注) 当社グループの事業は、その多くの業務についてリモートワークによる対応が可能であり、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言による業務遂行への影響は軽微であります。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済環境の先行き不透明感が高まっていることから、大手企業を中心とした顧客の一部の案件において受注時期が想定より遅延するなどの事例が発生しておりますが、現時点で業績に与える影響は軽微であると想定していることから、連結売上高、営業利益、経常利益は現時点で変更はありません。しかしながら、経済環境の悪化が続いた場合、顧客のソフトウェア投資への意思決定に影響が生じ、短期的に当社グループの新規受注に影響が与える可能性がございます。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,614,986	24,988,470
受取手形及び売掛金	887,003	1,028,351
原材料及び貯蔵品	422,621	396,074
その他	466,901	517,994
貸倒引当金	△2,040	△2,387
流動資産合計	24,389,472	26,928,503
固定資産		
有形固定資産	1,417,707	1,360,704
無形固定資産		
のれん	2,066,865	1,966,079
その他	594,916	685,640
無形固定資産合計	2,661,781	2,651,720
投資その他の資産		
投資有価証券	1,601,292	1,257,390
その他	268,357	502,708
投資その他の資産合計	1,869,650	1,760,099
固定資産合計	5,949,140	5,772,524
繰延資産	83,069	57,132
資産合計	30,421,682	32,758,160
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,915	274,348
短期借入金	—	960,130
未払法人税等	261,149	900,635
その他	732,672	944,594
流動負債合計	1,325,736	3,079,708
固定負債		
長期借入金	2,332,870	2,241,245
その他	110,164	114,344
固定負債合計	2,443,034	2,355,589
負債合計	3,768,771	5,435,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,554,220	14,558
資本剰余金	12,553,220	25,114,336
利益剰余金	1,537,531	3,182,822
自己株式	—	△957,010
株主資本合計	26,644,971	27,354,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,567	△34,017
その他の包括利益累計額合計	5,567	△34,017
新株予約権	2,371	2,172
純資産合計	26,652,911	27,322,862
負債純資産合計	30,421,682	32,758,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,683,776	5,515,781
売上原価	699,703	3,419,468
売上総利益	984,072	2,096,312
販売費及び一般管理費	429,807	1,653,079
営業利益	554,265	443,233
営業外収益		
受取家賃	—	13,361
持分法による投資利益	—	14,471
移転補償金	—	14,985
その他	1	6,034
営業外収益合計	1	48,852
営業外費用		
支払利息	222	23,927
株式交付費償却	6,375	25,936
持分法による投資損失	14,760	—
その他	5,182	15,342
営業外費用合計	26,540	65,206
経常利益	527,726	426,878
特別利益		
投資有価証券売却益	32,378	2,622,221
特別利益合計	32,378	2,622,221
特別損失		
投資有価証券評価損	—	432,170
その他	—	17,330
特別損失合計	—	449,501
税金等調整前四半期純利益	560,105	2,599,599
法人税、住民税及び事業税	199,674	1,157,027
法人税等調整額	962	△202,719
法人税等合計	200,637	954,307
四半期純利益	359,468	1,645,291
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,468	1,645,291

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	359,468	1,645,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,065	△39,585
その他の包括利益合計	△5,065	△39,585
四半期包括利益	354,402	1,605,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,402	1,605,706

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式360,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が957,010千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が957,010千円となっております。

また、2020年5月12日に無償減資を行いました。この無償減資等の結果、第3四半期連結累計期間において資本金が12,550,389千円減少し、資本剰余金が12,550,389千円増加しております。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は14,558千円、資本剰余金は25,114,336千円となっております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	297,707	1,386,068	1,683,776	—	1,683,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	297,707	1,386,068	1,683,776	—	1,683,776
セグメント利益	118,588	501,762	620,350	△66,085	554,265

(注) セグメント利益の調整額△66,085千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,908,609	1,607,171	5,515,781	—	5,515,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,700	20,700	△20,700	—
計	3,908,609	1,627,871	5,536,481	△20,700	5,515,781
セグメント利益	207,662	323,843	531,506	△88,273	443,233

(注) セグメント利益の調整額△88,273千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、前連結会計年度末より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2019年7月31日に行われた株式会社アイドラ(アイドラグループ3社は、2020年1月1日付けで株式会社アイドラ及び昭立工業株式会社を消滅会社、株式会社アイテックを存続会社とする吸収合併を行っております)との企業結合において前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

なお、取得原価の当初配分額に重要な修正は生じておりません。